

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

2025年6月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

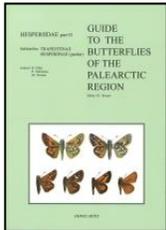
北海道の蝶の生活史図鑑 蝶好きの12か月



永盛 俊行, 2025.
B5 判, 216pp., フルカラー, 価格: 5,200 円 (税込 5,720 円)
北海道の蝶 116 種の生活史と「蝶屋」の 12 か月の蝶中心の生活を絵本風のイラストと 450 枚を超える生態写真で紹介した図鑑です。「蝶の生活史」と「蝶好きの 12 か月」の 2 部構成となっています。

旧北区のチョウ

Guide to the Butterflies of the Palearctic Region



HESPERIIDAE part II セセリチョウ科 (2)
Subfamilies Trapezitinae, Hesperinae (partim)
2025. Authors: Chiba, H., Tsukiyama, H. & Bozano, GC.
A4, 82pp. ソフトカバー, テキスト: 英語.
価格: 6,600 円 (税込 7,260 円)
本邦に關係するスジグロチャバナセセリ属、タアカセセリ属、コキマダラセセリ属含む。

A Handbook of Hong Kong Butterflies

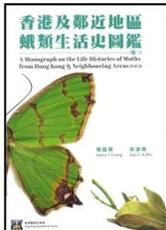
香港胡蝶手冊 香港の蝶ハンドブック



James J. Young & Jojo C.S. Wu, 2025.
A5, 322pp. 価格: 6,600 円 (税込 7,260 円)
香港の蝶の最新情報を生態画像を中心に各蝶は個別に分布、成虫発生環境と発生月、寄主植物、生態などが掲載されています。巻末には、斑紋異常個体や雌雄同体、記録が疑わしい種などについての情報も掲載されています。ハンドブックという名前ですが新書判ではなく、いわゆるフィールドガイドのサイズです。

A Monograph on the Life Histories of Moths from Hong Kong & Neighbouring Areas Vol.3

香港及近隣地区の蛾類生活史図鑑 第3巻



James J. Young & Jojo C.S. Wu, 2025.
215 x 333mm, 380pp., フルカラー, テキスト: 英語・繁体字. 価格: 18,000 円 (税込 19,800 円)

香港及近隣地域に生息する 10 科 35 種の卵、幼虫、蛹から成虫や雄交尾器の写真、生活史の観察記録が掲載されています。また宿主(植物)の写真も掲載されている。特に幼虫期の年齢における期間や体長のグラフや、各齢の写真なども第 1 巻および 2 巻と同様である。第 3 巻も美麗種が選定されるように見え、日本でもなじみのあるどちらかという南方系のヒメアケビコノハ、キオピアシブトクチバ、サビモンリリオビクチバなどの各ステージ画像も圧巻です。

ビジュアル図鑑 昆虫 驚異の科学



デイヴィッド・A・グリマルディ(著), 丸山宗利(監修), 中里京子(翻訳), 2025.
241 x 260 x 192 mm, 368pp., 価格: 5,900 円 (税込 6,490 円)

昆虫の体の構造、進化、変態、翅と飛翔、擬態、成長、生殖、人間との関わりなど、740 点の図版をもちいてあらゆるテーマを網羅解説しています。教科書的な部分と、最新の解剖学・生理学・進化・生態学からのアプローチによる画像と解説は、「昆虫 驚異の科学」のタイトルにふさわしい内容となっています。

自然史標本のつくり方



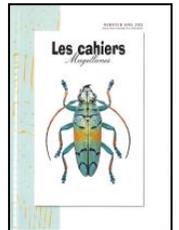
国立科学博物館(監修), 2025.
B5, 144pp., 価格: 3,700 円 (税込 4,070 円)
国立科学博物館研究部の先生方による、自然史標本の作製方法をオールカラーで解説するマニュアルとなっています。昆虫関係は、チョウ・ガ、甲虫、トンボ、ハチが書かれています。熟練の虫屋さんにも、気づきがあるような内容となっていて、一読をお勧めします。また、冒頭の標本に関するデータベース作成と「ダーウィンコア」の話と、実際表計算ソフトを使用したデータ入力については、これからの標本の管理と行く末を考えると必須事項であり、基礎的な内容でわかりやすい紹介となっています。

自然史博物館の資料と保存



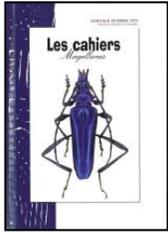
高野温子・三橋弘宗(編), 2024.
A5, 178pp., 価格: 3,400 円 (税込 3,740 円)
本書は自然史博物館の学芸員を目指す学生、自然史資料の管理を担うことになった小規模博物館の学芸員向けに、自然史博物館の活動の根幹をなす資料収集と保存について書かれています。各章は現役の学芸員の方の執筆のため、簡潔であるが深い内容が書かれています。特にページの合間に書かれている「標本 DNA をよりよく保存する方法」や「AI を活用した資料整理法のアップデート」などの「トピックス」はたいへん有用な情報となっています。

Les Cahiers Magellanes NS No.51



(2025年4月発行)
250x175mm, 114pp. 価格: 7,900 円 (税込 8,960 円)
ソフトカバー, テキスト: フランス語、英語
アジア関係は、中国・ボルネオ・オーストラリアなどのカミキリムシ科論文を含みます。

Les Cahiers Magellanes NS No.50



(2024年12月発行) 250x175mm, 171pp. 価格: 7,900円(税込 8,960円) ソフトカバー、テキスト: フランス語、英語 目次 PDF アジア関係は、フィリピン、ベトナムなどのカミキリムシ科論文を含みます。 Callichromatini (アオカミキリ族) の複数種新種記載もあります。

セミハンドブック 増補改訂版



税所康正, 2025. 新書判, 136pp., 価格: 2,000円(税込 2,200円) 野外に持っていきけるポケットサイズの判型。二次元コードから鳴き声を視聴可能で、野外でのセミ学習にもぴったりです。日本産をほぼ網羅する33種の生きたセミを撮影し、標本の写真と違って色あせていない自然な姿で識別できます。原寸大写真や白バックのセミ写真で特徴をわかりやすく解説し、分布図も掲載されています。地域・鳴き声・ぬけ殻から調べられる検索表つきで、多方面からセミを判別できます。

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし(むし社)

2025年7月号(653号) B5, 64pp. 1,430円(税込・送料別)



[表紙] ハクサンシャクナゲに訪花するミヤマシロチョウ 山口 茂, 今月のむし ヤキシヤマトンボ 幸田洋平, 北海道オホーツク管内東部で再発見されたキタキイロネクイハムシとその生態に関する考察 竹本拓矢・占部智史・加藤 巧, 「世界のブナの森と虫たち」その後 23. ナラの林のジュウシチネンゼミ 永幡嘉之, 国内のミドリヒョウモンの形質に関する論考—対馬産は隣接する日本海島嶼(済州島・隠岐島)ならびに本土産と異なる形質である— 有田 斉・村上貴文・朝日純一, 2024年の昆虫界をふりかえって 蝶界(II) 矢後勝也, むしやの広場 虫の里・福島奥久慈「昆虫館」がプレオープン 本誌編集, 今月の本 うんちで虫のなぞを探る・他 本誌編集部, KIROKU・HOKOKU(15編) 岐阜県高根村(現, 高山市)でのクモツマキチョウの記録 浅野好和・村上貴文, トカラ列島宝島のオオシマゴマダラカミキリ 藤田 宏, 京都府におけるアカモンガクチキの採集記録 鶴田健一・瀬口翔太, セグロアシナガバチによるセトウチマイマイの殻への営巣 久我 立・粕谷英一, 長崎県対馬におけるキタミズカメムシの初記録 小林 温, 千葉県山武市にてアカヘリヤガの生息を再確認 小松 貴, 前・後翅に白斑をもつスギタニルリシジミの記録 高坂 寿, 東京都小平市の玉川上水でコブアリノスアブを採集 韓 昌道, 千葉県におけるサトウナガタマムシの記録 板倉充洋, 埼玉県熊谷市でサトウナガタマムシを採集 富岡優文, 大阪府高槻市におけるアキトアリの発見 梶原優吉・木村考之介・津川智紀, タヌキのため糞でコクワガタを確認 小林諒介, 神奈川県でミヤマナカボソタマムシの追加記録 渡辺一夫, 沖縄県那覇市でシロウラナミシジミを採集・撮影 萩原絢子・藤原光希, ミドリシジミの裏面斑紋異常個体 吉川厚之, 編集後記

昆虫と自然(ニューサイエンス社)

2025年7月号 (Vol.60 No.8) B5, 40pp. 1,682円(税込 1,850円)



特集・DNAから知るチョウの繁栄と衰亡の歴史, The history of the prosperity and decline of butterflies revealed through DNA, 総論: チョウの系統・進化と多様性研究の発展 八木孝司, ウラナミシヤノメとヒメウラナミシヤノメの遺伝構造 竹内 剛, ギフチョウの過去, 現在, 未来: SNPを使った解析 土田浩治, DNA分子系統解析と隠蔽種 伊藤 建夫・北原 曜, 国内希少野生動物種オカサワラシジミが繁殖途絶に至った集団遺伝学的背景 中濱 直之, 報文 昆虫における性限定擬態: シロオビドクガの色彩の性的二型の進化的背景 矢崎 英盛, 報文 日本のケシキスイ科(コウチュウ目)最近の話題 久松 定智, 連載 未来の昆虫学者たち(10) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校

<新着 学会誌・同好会誌>

InsectTOHOKU(福島昆虫ファウナ調査グループ会誌)

No.67 (2025年1月30日発行) B5, 40pp., 価格: 800円(税込・送料別)



【編集後記】 ロド 40 福島県奥会津地方での甲虫の記録 金子道夫・金子節子, 八溝山頂直下の灯火採集でミヤママルクビゴミムシが多数飛来 金子道夫, いわき市において2024年に記録した蝶類 守谷和貴, 南会津町においてウスイロキヨトウを採集 守谷和貴, 田村市船引町におけるヨツボシトンボの記録 趙在翼・境優, 昭和村で採集したニセヤコブカギアシゾウムシについて 斎藤修司・近藤剛史・佐藤隆志, キマダラシギゾウムシを灯火で採集 近藤剛史・斎藤修司, 福島県からサビクフトゾウムシを記録 亀澤洋・斎藤修司, ムネアカチビナカボソタマムシの北限記録を更新 亀澤洋・斎藤修司, 米国ウィスコンシン州での水生生物の観察 趙在翼, [活動報告]田村市公民館5館と協働で実施した教育活動報告 趙在翼・吉岡明良・石井弓美子, [新聞記事から2つの話題], 【編集後記】 ロド

うすばしろ(西多摩昆虫同好会)

No.75 (2025年5月発行) B5, 32pp. 600円(税込・送料別)



奥多摩のカミキリムシの記録(2020?2024年) 源河正明, [奥多摩調査報告 7]水根沢林道で2024年に確認した甲虫類 宮川哲男, <採集・観察ノート> 2024年山梨県一の瀬合宿で記録された甲虫 原島真二, 八王子市におけるイシガケチョウの記録 井上大成, 多摩ニュータウン(八王子市)にて初秋にイワサキケブカカミキリを採集 秋田 勇, 奥多摩町におけるカタキハナカミキリの採集例 宮川哲男, 奥多摩町でヨツモンカメノコハムシを採集 源河正明, 奥多摩町の山でムラサキツバメを採集 宮川哲男, あきる野市でムシャクツバメシジミを確認 杉村健一・梅垣恵美・ハプロ アパリシオ・加瀬澤恭子, 故松本和馬さんが記録した多摩川河川敷のゴミムシ類 森川正昭

KORASANA (久留米昆虫研究會)

104号 (2025年2月発行) B5, 208pp. 3,500円 (税込・送料別)



表紙解説 九州に生息する熱帯のコメツキダマシ 鈴木 互, 西原博之さんを偲んで 越智恒夫, 追悼 西原博之さん 和田潤, 睦月島 (愛媛県松山市) でシコクヤコンオサムシを採集 (コウチュウ目: オサムシ科, オサムシ亜科) 西原博之, 福岡県におけるキバネキバナムスギワゴミムシの追加記録 中島淳・小山彰彦・長野光, 生月島で採集

された歩行虫 【Ground beetles (Coleoptera, Carabidae) collected on Ikitsuki-jima Island, Nagasaki Prefecture, Japan】 中村涼, 久留米市高良内町の高良川でムカシトンボ幼虫を拘う 今坂正一, うきは市でナベフタムシを再発見 今坂正一, 福岡県の溜め池巡り 2023年晩秋 今坂正一, 鹿児島県さつま町紫尾川で採集したトビケラ目成虫の記録 【Records of adult Caddisflies collected from the Shibi-river, Satsuma-cho, Kagoshima Prefecture】 勝間信之, 福岡県北九州市小倉南区合馬川上流で採集したトビケラ目成虫の記録 【Records of adult Caddisflies collected from upstream of the Ouma-riber, Kokura-minami ward, Kitakyushu-city, Fukuoka Prefecture】 勝間信之, 福岡県におけるサキグロコムズムシの記録 中島淳, 八女郡広川町のヒョウモン2種の記録 國分謙一・今坂正一, 愛媛県におけるルリツツカッコウムシの記録 越智恒夫, 昆虫逸話 トウガラシ苗をめぐる害虫達との闘争記 緒方靖哉, 昆虫逸話 体温と汗と蚊と 緒方靖哉, 昆虫逸話 コバエの不思議な習性 緒方靖哉, 沖縄県南城市奥武島のタイワンツチナメコ 長田庸平, 2024年, 沖縄島における分布拡大種の蝶類の記録 長田庸平, 沖縄県糸満市摩文仁でフタオチョウを目撃 長田庸平, 青色部が減退したルリウラナミシジミ雄を採集 長田庸平, 沖縄島における小型のツマバニチョウの記録 長田庸平, 「冬虫夏草の古記録「筑後地誌」の紹介およびその関連について」への追加 國分謙一, 嬉野市唐泉山の甲虫相について 西田光康, 2021年佐賀県太良町においてFITにより採集されたアリツカムシ 野村周平・西田光康, 佐賀県産ヨツモンサルハムシの記録とシイサルハムシの記録の削除 西田光康・今坂正一, チビデオソウムシの筑後川の記録の訂正と福岡県に於ける (仮称) アカハモグリソウムシの発見 今坂正一, 宮崎県綾町におけるトゲツツクシヒゲコメツキダマシの追加記録 鈴木 互・笹岡康則, 鹿児島県におけるナルカワクシコメツキの記録 鈴木 互・野田亮, 宮崎県高鍋町嶋野浜の流木集積場において得られたコメツキムシとコメツキダマシ 【Elteridae and Eucnemidae Collected from a Driftwood Accumulation Site at Shiginohama Beach, Takanabe Town, Miyazaki Prefecture, Japan】 鈴木 互・笹岡康則, クロビロウドコメツキダマシの食樹と蛹の形態について 【Notes on the host trees and pupa of *Galbites borealis* (Hisamatsu, 1980) (Coleoptera, Eucnemidae)】 鈴木 互・野田亮, 大隅半島で採れた正体不明のオオキノコ 廣川典範, 福岡県の有人島におけるハムシ・ソウムシ上科の分布記録 今田舜介, 九州大学総合研究博物館の福岡県産甲虫類 (1) 城戸克弥, 福岡県篠栗町でウモノバチを採集 城戸克弥, 福岡県で採集した甲虫類 (2) 城戸克弥, 福岡市近傍で採集した若干のソウムシ類 (2) 城戸克弥・和田潤, 八女市でオオシマヒサゴクチカクシソウムシを採集 江頭修志, 熊渡山の甲虫類 (7) - FIT と FIT 以外で得られた熊渡山の甲虫類 - 江頭修志, 種子島採集紀行 2024年4月 今坂正一・木野田毅・國分謙一, 種子島の蝶 (2024年4月) 國分謙一, 編集後記, KORASANA 103号 訂正

二豊のむし (大分昆虫同好会)

No.63 (2025年2月28日発行) B5, 92pp. 3,000円 (税込・送料別)



豊後大野市の柴北川でキイロヤマトンボを確認 堀田実, 大分県におけるウスバキトンボ初見日の記録更新 大倉鉄也, ハラボソトンボの越年記録 岡本潤, 九重町におけるスナアカネの記録 田島尚・宮本靖之, 大分県佐伯市宇目でムカシヤマを採集 玉嶋勝範, ムネアカハラビロカマキリの卵囊を大分県豊後高田市で確認 玉嶋勝範, スギタニルリシジミの由布市, 豊後大野市

及び佐伯市の新産地及び大分市の最低標高地記録 安本潤一, 2023~2024年, クロマダラソテツシジミの大分市内の観察記録 安本潤一, スジグロチャバネセセリ由布市の新産地 安本潤一, ミズイロオナガシジミの佐伯市蒲江の新産地 安本潤一, ソシロイバナに産卵したジャコウアゲハ 花宮俊策, クロマダラソテツシジミの大分県における確認記録 (2024年) 玉嶋勝範, 大分県佐伯市蒲江でアオタテハモドキを採集 玉嶋勝範, 大分県佐伯市蒲江でタテハモドキの発生を確認 (2024年) 玉嶋勝範, 大分県津久見市におけるウスキシロチョウの採集記録 玉嶋勝範, 大分県初記録のキオビエダシヤクを佐伯市蒲江で採集 玉嶋勝範, 大分県玖珠郡九重町でキマダラコウモリを採集 玉嶋勝範, 大分県で確認された外来種フウノギンバナエガサ 三宅武, 国見町で確認されたタケノウチエゴアブラムシ 三宅武, タマキノコムシ科・ヒゲフトチビシテムシ科数種の分布記録 三宅武, 会誌 No.62 の記録追記 三宅武, 大分県産エンマムシ上科甲虫の分布記録 (2024年版) 三宅武, セダカカコムネトビハムシの食草一例 三宅武, 記録の訂正 三宅武, 岡本潤氏が2023-24年おもに灯火で採集した三重町ほかの昆虫 三宅武, 大分県初記録のタイワンヒメトグムシ 三宅武, 大分県初記録のクモガタテントウ 赤嶺蒼, 豊後大野市三重町現山の昆虫相調査結果 赤嶺蒼, 竹田市挾田でアイヌハンミョウを確認 堀田実, 祖母山系本谷山におけるシナクロフカミキリ九州亜種の採集例 竹田昌史, 大分県 (宮崎県) 初記録のシリグロナカバソタマムシ採集記 金只遼太郎, チュウゴクアミガサハゴロモを県内初確認 金只遼太郎, オオツノカメムシを豊後大野市緒方町尾平にて採集 立川裕史, 大分県におけるチツゼミの新産地 伊藤玲央, 大分県および宮崎県におけるウミミズギワゴミムシの記録 伊藤玲央, 九重町牧ノ戸峠のハコネマルツノゼミの画像同定による記録 三村義友, 新規キウシュウコケシマグソコガネ 三村義友, オオヒメグモに宙吊りにされたマイマイカブリ 三村義友, エントツドロバチの採集記録 三村義友, 2024年元旦~同年5月31日間の自宅庭のアゲアリの採集記録 三村義友, 大分県におけるアゲアリの採集記録 三村義友, シリアゲコバチの採集記録 三村義友, アナバチ科ドロシガバチ亜科2種の記録 三村義友, 天井裏に営巣した危険なキイロスズメバチの採集記 三村義友, キイロスズメバチみと越冬中の女王バチの採集例 三村義友, 二豊のむし No.62 正誤表, 編集後記

はなあぶ (双翅目談話会)

No.59 (2025年4月発行) B5, 60pp. 1,500円 (税込・送料別)



埼玉県における *Therobia japonica* (ヤドリバ工科) の記録 田悟敏弘, 千葉県におけるヨシコツルギアブの初記録 神尾大地, 千葉県におけるナギサツルギアブの初記録 神尾大地, 神奈川県におけるクシヒゲツノキノコバエとツマシロノコキノコバエ (双翅目: ツノキノコバエ科) の記録 吉澤聡史, 岐阜県のカガンボ上科の記録 (2) 加藤大智・大宮正也・川瀬英夫・高井泰, 離島のハ工相の記録 8, 西表島からの記録 倉橋弘・柿沼進・竹内正人, *Polypathomyia stackelbergi* アシマダラニセヒメコバエ (双翅目: ニセヒメコバエ科) の京都府からの記録 市毛勝義, 茨城県でヤク

ノオワイハ工 Borboropsis yakunoana (オワイハ工科)を採集 市毛勝義, Schroederella wojciechowskii (双翅目: トゲハネハ工科)の日本からの記録 市毛勝義, 日本初記録となる Xylota tarda ニセオオモンハラナガハナアブ(和名新称)を北海道で採集 市毛勝義・木野田君公, Psarochilosia djakonovi フサクロクロハナアブの四国からの記録 市毛勝義, 本土初記録の Mactea avocettina (ムシヒキアブ科・イシアブ亜科) 田川勇治・木野田君公, Eliozeata helluo (ヤドリハ工科)の京都府での記録 駒形森, タイ国北部チエンマイ市郊外で採集されたセマダライエハ工 倉橋弘・サニョフ サニョット・カフキャウ スコンタソン, 日本初記録の Cheilosia melanopa (Zetterstedt, 1843)ミヤマケカオクロハナアブ(和名新称) 竹内正人, 日本初記録の Platycheilus sp. ハナレメヒラアシヒラアブ(和名新称) 竹内正人, 南アルプスで記録された Gimnomera sp. キマダラシリフトフンバ工(和名新称) 竹内正人, 岐阜県でニッポンシカシラミバ工を採集 大宮正也・川瀬英夫, 岐阜県の有弁翅類の記録(3) 大宮正也, 岐阜県高山市での双翅目の採集記録 大宮正也・大石久志, 京都府と大阪府で採集された珍しいカトリバ工属 2種(双翅目, イエバ工科) 大宮正也・大石久志・柿沼進, ヒウラマダラハ工(和名新称)(双翅目, マダラハ工科) 天塩(北海道)に産す 大石久志

Bulletin of the Toyosato Museum of Entomology

(つくば市ゆかりの森昆虫館)

No.39 (10. June, 2025)

B5, 16pp. 500円(税込・送料別)

テキスト: 日本語・英語併記

Yoshinobu Ueyama: A revisional guide to the pandocus-group of the genus Ypthima Hubner (Lepidoptera: Nymphalidae, Satyrinae)
植村好延: ウラナミシヤノメ属 pandocus 群の総説



山梨の昆虫 (甲州昆虫同好会)

No.64 (発行: 2025年5月) A4, 52pp. 3,000円(税込・送料別)



山梨県笛吹市におけるハマオモトヨトウ定着とその生活史 遠藤花穂・三枝留嘉・栗林佑治・田守優花・柳澤碧・山口紗夕・酒藤光希・後藤優季・深澤優月・細窪咲良・風間友香・岩間渚・保坂連太郎・松尾洋・亀井忠文, 環境省準絶滅危惧フジシガバチ (Ammophila atripes japonica) の営巣活動の観察 渡邊通人, 山梨県周辺の止水環境における水生昆虫等の観察記録(2024年) 猿田朝久, 小淵沢町におけるヒゲトハナムグリ(鞘翅目コガネムシ科)の記録 多田茂男, 小淵沢町(北社市)におけるアカボンゴマダラ(鱗翅目タテハチョウ科)の記録 多田茂男, 小淵沢町におけるラミーカミキリ(鞘翅目カミキリムシ科)の記録 多田茂男, 日本国内におけるラミーカミキリの分布拡大 I 寄主植物の影響 多田茂男, 2024年, 上野原市のキマダラルリツバメの記録 杉村健一, 甲府盆地におけるクチナガコロギの記録 石原雅貴, 2024年鳴沢村で記録したチョウ 杉村健一, 山梨県北都留郡丹波山村鴨沢のハチ 斉藤洋一, 山梨県甲斐市のオオムラサキ(4) 秋山隆, 山梨県梨ヶ原における草原性のオサムシ科甲虫 2種の記録 杉田将, 釜無川河川敷でイトアメンボを採集 杉田将, フィールド・ノート 渡邊通人: 甲府市で確認されたクロマダラソテツシジミの記録, 甲府市でシンジュキノカワガが確認される 渡邊通人, 南部町でイシガケチョウを目撃 斎藤伸行, 静岡県富士宮市のチャマダラセセリの記録 秋山隆, 富士川町の八雲池にてハネピロトンボを県内初記録 沓間妙子, ムカシトンボの記録 沓間妙子, ヤブヤンマの記録 沓間妙子, コサナエの記録 沓間妙子, 杓子山においてハネブサヤチホコを目撃 杉田将, ヨモギから発生したと思われるアサカミキリを目撃 渡邊通人

<新着 用品・用具>

BugDorm LED ライト付 拡大鏡シリーズ



低倍率でも快適に観察できる優れものの拡大鏡です。LED ライトが付いており4種類の色温度に調整できます。標本やラベルの精査、解剖、専門書の細かい文字を読む際に大活躍します。

価格: 22,000円(税込 24,200円) ~40,000円(税込 44,000円)

寸法: 100mm(レンズ)

本体重量: 550g

レンズ素材: ガラス(3倍のみアクリル)

レンズタイプ: 平凸レンズ(プラノコンベックス) / 3倍のみ非球面レンズ

倍率: 1.6倍 | 2.5ディオプター / 1.8倍 | 3ディオプター / 倍率: 2.3倍 | 5ディオプター / 3倍 | 8ディオプター

電源: 単三電池×2(別売)またはUSB-Cポート経由

※ 電池およびUSBケーブルは付属していません。

※ デスククランプは付属していません。

BugDorm-E00448-C LED 拡大鏡専用

ロングアーム式デスククランプ



価格: 14,000円(税込 15,400円)

UV(紫外線)カット セーフティグラス(ライトトラップ用)



レンズ直径: 65mm, ブリッジ(鼻部分): 17mm, テンプル(サイドの長さ): 160mm, レンズ天地幅: 36mm, フロント長さ: 145mm, フリーサイズ(ワンサイズ), 28g.

硬質プラスチック製 価格: 2,500円(税込 2,750円)

太陽光以外の屋内外での使用を目的として設計されています。ライトトラップを行う際、ライトから発生される紫外線を和らげる効果が期待できます。最大 99.9%の紫外線防止効果があります。

昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/ropon-ashi/>

EMAIL: ropon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町 24-3 三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164 FAX: 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

● 当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号 001202 番号 18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱 UFJ 銀行 室町(ムロマチ)支店

普通預金 3962446

※ 口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

